



阿知須小だより



よさが輝く学校～自分で考え行動する児童の育成～

地域とともにある学校～コミュニティ・スクール9年目～

令和2年8月18日 No.6

いつもより早い2学期のスタート！

夏休みが終わり、子どもたちが学校に戻ってきました。年度初めの臨時休業の影響により、いつもの年より短い夏休みとなりましたが、家族とのふれ合いや様々な体験により、心のリフレッシュとともに、自分の成長につながる夏休みになったことと思います。

さて、2学期の始業式は、引き続き、放送によって行い、子どもたちには、「身近な目標を立て、その実現に向けて一日一日を大切に過ごすこと」、「自分で考えて行動し、当たり前前が当たり前前できるようにすること」の二つについてお願いしました。御家庭でも、励ましの声かけをよろしくお願いします。

本来であれば2学期は、多くの行事がある学期ではありますが、「新しい生活様式」のもと、子どもたちの安心・安全を第一に考え、行事の中止や縮小をせざるを得ない状況が続いています。そのような中でも、子どもたちの充実感や満足感、達成感につながるよう、教職員が知恵を出し合い、保護者や地域の方々のお力を借りながら教育活動を進めていきたいと思ひます。

2学期も、どうぞよろしくお祈ひします。



あいさつは魔法の力

朝、私が正門のところで子どもたちを出迎えていると、多くの子が、「おはようございます。」と気持ちのよいあいさつをしてくれます。しかし、残念ながら、声が小さかったり、こちらから声をかけてもなかなか言葉を返してくれなかったりする児童がいるのも事実です。

以前勤めていた学校の先生が、「おはよう。」というあいさつには、「今日も私は元気です。」「今日も頑張ります。」という自己主張と同時に、「あなたも元気ですか。」「一緒に頑張らしましょう。」という他者を承認する気持ちが込められていると言っておられました。あいさつが返ってこない、何となく心配になってしまうのはこのためかもしれません。

下に紹介するのは、今から15年くらい前の「東京あいさつフェスタ」で発表された曲です。新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクなしで大声を出すことは避けなくてはならない状況ではありますが、あいさつを通して心を通い合わせ、まちづくりにもつながるといいなと考えています。

あいさつは魔法の力

作詞：多湖 輝 作曲・編曲：伯耆田 Hiromi

ちょっと勇気があるけれど 思い切って声を出してみよう あいさつは魔法の力
朝は“おはよう”でいい気分 道で会ったら“こんにちは” ほらこんな風に
世界中に大きな声で おはよう“Good morning” こんにちは“Hello” ほらこんな風に

一人の勇気がみんなを変える 家族も友達も学校も あいさつは魔法の力
お世話になったら“ありがとう”心を込めて 迷惑かけたら“ごめんなさい” ほらこんな風に
世界中に大きな声で ありがとう“Thank you” ごめんなさい“Excuse me” ほらこんな風に

一人ひとりの力がみんなを変える
あいさつは魔法の力 あいさつでこのまちを変えよう

2学期の行事について

2学期の10月以降の行事については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら、実施の有無や方法について検討中です。9月上旬には、大まかな行事についてお伝えしたいと思います。

環境整備作業ありがとうございました！

P T A役員や教育後援会の皆様には、梅雨明け直後のたいへん暑い中、環境整備作業に御協力いただき、誠にありがとうございました。お陰様で、2学期を気持ちよくスタートすることができました。今後とも本校教育への御理解と御支援をお願いします。